

第 28 回基準諮問会議

2016年11月14日、財務会計基準機構（FASF）において第28回基準諮問会議（議長 野崎邦夫 住友化学(株) 代表取締役専務執行役員）を開催し、審議が行われました。詳細な内容については、財務会計基準機構ホームページにて「議事概要」を公開していますのでご覧ください。

（審議事項）

1. テーマ提言について

(1) 前回（2016年7月4日）までの基準諮問会議における新規テーマの提案について

基準諮問会議事務局より、前回までの基準諮問会議における提案のうち、「『経営者が会計方針を適用する過程で行った判断』及び『見積りの不確実性の発生要因』に関する注記情報の充実」については事務局で対応を検討中であり、国際的な動向も踏まえ、次回の基準諮問会議で新規テーマの提言を行うか否かについて決定したい旨、「無対価株式交換の会計処理」、「親会社による子会社の吸収合併」及び「会計制度委員会報告第14号『金融商品会計に関する実務指針』における当座貸越契約及び貸出コミットメントに関する規定の改正」、「無対価株式交換の会計処理」については、いずれも実務対応専門委員会に評価依頼中である旨の説明がなされた。

上記について基準諮問会議の委員より特に意見は聞かれず、議長より、前回までの基準諮問会議において提案されたテーマについては次回以降の基準諮問会議において、新規テーマの提言を行うか否かについて決定したい旨の発言がなされた。

(2) 今回の基準諮問会議における新規テーマの提案について

「仮想通貨に係る会計基準の取扱い」について、基準諮問会議事務局より、その内容及び実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼したい旨の説明が行われた。

基準諮問会議の委員からの意見等を受け、議長より、事務局の対応案どおり、実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼する旨の発言がなされた。

2. ASBJの最近の活動状況について

企業会計基準委員会（ASBJ）小野委員長及び小賀坂副委員長より、前回の基準諮問会議以後のASBJの最近の活動状況についての報告が行われた。

基準諮問会議の委員からは、収益認識に関する会計基準の開発や、適用後レビューの計画策定についての意見募集に対する意見が聞かれた。

これらの点について、ASBJ小賀坂副委員長より、いただいたご意見を参考に検討していきたい旨の回答があった。